

【ヒヤリ・ハット事例集】

平成31年3月に実施しました「産業廃棄物処理におけるヒヤリ・ハット事例」の調査結果をとりまとめたものです。ご協力に感謝申し上げますとともに、今後の業務の参考にしていただきますようお願いいたします。

業の種類	作業名	発生状況	発生原因	再発防止対策	
		(何がどうした)	(なぜ)	(どうした)	
1	収集運搬	積込	中間処理後の廃プラスチック出荷時、トラックへ積み込む際に運転手が安全帯を着用せずに荷台へ上がった	安全帯ランヤードを装着できる安全滑車のある場所（荷積場）が廃プラヤードから遠い場所にあり、運転手も場所自体を把握していなかった。	現状は安全帯が装着できる荷積場が1ヶ所しかない為、そこに移動し荷積みを行う。また、今後は荷積場を増やし、安全に作業できるようにする。
2	収集運搬	車両誘導	車両誘導時に足を踏み外して転倒しかけた	車両に気を取られ、自分の足元確認を怠っていたため	足元確認、作業場内の状況確認を徹底する
3	収集運搬	集荷	アームロール車に箱を積み込む際に観音扉のフックが外れ、産廃が飛び出した	フック、ロックピンのかけ忘れ	荷積時は指さし呼称にて確実にフック、ピンを確認する
4	収集運搬	荷積み	資源ごみ回収時、積荷にカバーを掛ける際、足を滑らせて転倒しそうになった	不安定な場所（あおり）に乗って作業したため	足下、足場の確認を徹底する
5	収集運搬	積込作業	トン袋をトラック荷台に積込時、トン袋が落下した	トン袋のベルトが切れたため	トン袋のベルトの状態を作業開始前に確認し、重量物をトン袋に過剰に入れない
6	収集運搬	運転中	車両（4t車）を後進して運転中に路面の凸凹がありハンドルを取られ側面の駐車車両にぶつかりそうになった	新設道路工事現場だった為、路面が不陸整正されていないため、石ころに乗り上げそうになったため	特に後進の時には、誘導員を配置して交通誘導して安全確認を行うようにする

業の種類	作業名	発生状況	発生原因	再発防止対策	
		(何がどうした)	(なぜ)	(どうした)	
7	収集運搬	荷降ろし	ダンプ後退時にダンプが転倒しそうになった	後退時に誘導員がいなかったため	誘導員を配置し、誘導員がない場合は車止めを設置して後退する
8	収集運搬	運転中	高速道路走行中、登坂車線から走行車線に移動した際に、後方の車両からアップライトで2 km程あおられた	自分では十分に車間距離があるつもりで走行車線に移動したが相手にとっては急に感じたと思う	車間距離を十分に取り、常に周囲の状況を確認する
9	収集運搬	片付け	産廃箱にゴミ等を入れBHで押さえていた時スプレー缶が破裂した	ガス抜きをしていなかったため	スプレー缶などはガスを抜き、一斗缶などはフタを取る旨を産廃箱に表示した
10	収集運搬	荷降ろし	トラック荷台にて作業中転倒しそうになった	荷台上足下の確認不足のため	<ul style="list-style-type: none"> ・積荷、荷降ろし作業場所の整理整頓 ・動作前に必ず周囲の足元確認を行う
11	収集運搬	運転中	土砂運搬中に、土砂がダンプトラックの荷台からこぼれそうになった	両脇のコボレーンの開閉を怠った	コボレーンの開閉を目視で確認し、強風時には飛散防止シートを設置する
12	収集運搬	積荷後	運転席のドアを開く時、突然バイクが走ってきて接触しそうになった	トラックの死角にバイクが入っていて、後方確認を怠っていたため	後方確認をしてから周囲の確認も確実に行ってから、運転席のドアを開く
13	収集運搬	荷降ろし時	コンクリート殻を積んだ4 t DTで荷降ろし中に殻が後部鋼板にはさまり、コンクリート殻が荷台で詰まった	コンクリート殻が大きく、4 t DTの後部鋼板に挟まり、コンクリート殻が荷台に詰まった	コンクリート殻が大きい場合は、後部鋼板を荷降ろし前に外すなどの処理を行う
14	収集運搬	運転	片側1車線の道路を、前車について走行中、左側から急に一旦停止をせず車が左折してきた	後車との車間距離もありスピードも出ていなかったため事故にはならなかった	前をよく確認して安全運転に心掛ける

業の種類	作業名	発生状況	発生原因	再発防止対策	
		(何がどうした)	(なぜ)	(どうした)	
15	収集運搬	運転	片側1車線の道路で走行車の少ない住宅地を走行中、下校中の小学生が突然確認なしで道路を横切ってきた	住宅地で小学生もいたこともあり、スピードを落として運転していたので事故にはつながらなかった	道幅の狭い道路や子供のいる場合の運転は特に注意して運転する
16	収集運搬	回収作業中	混載の袋を分別中	ペットボトルや缶の入っている袋を分別中割れた瓶や金属が中に入っており、手を切った	中身の確認と手袋をきちんとつけて作業する
17	収集運搬	運転	轍に乗り上げ車両が揺れ傾いた際、荷が飛び出して対向車に接触しそうになった	林道走行ということもあり、運転に油断があった	道が狭くカーブも多い道路では、咄嗟の回避が難しい事を理解し、荷の固縛を充分行い低速度で走行する
18	収集運搬	積込み	フォークリフトでパレットに置かれた廃ドラム缶を積み込む際、車両と接触しそうになった	荷が高く積まれ前方から見えにくかったにも拘らず、仕事を早く済ませようと前進走行した	基本であるバック走行を守り、誘導員の合図の下に安全作業を徹底する
19	収集運搬	運転	前方走行中の紅葉マークをつけたコンパクトカーが急に進路変更し、直前に進入してきた	前方の車が、右折するため左車線から自車前方を横切り、右折車線に移行したものの	特に交差点付近は、前方、左右に気を配り、安全なスピードと車間を保つこと
20	収集運搬	荷積み	産廃箱の積込時、左側に駐車したが架線等の障害物があり、走行側を旋回したところ、車が下部を通過した	上部の架線と足場を注視し、車の一部を通過して止めた	上部障害物の注視は必要だが、微速操作に切換えて、上部下部左右周辺の状況を把握し、細心の注意を持って作業する
21	収集運搬	荷積み	産廃箱が定格吊り位置より離れていた為、地切をしたところ車が傾き反対側のアウトリガーが浮いた	産廃箱の新規搬入時、定格位置、荷立等の説明をせずに業者の指示位置におろした	搬入時は業者と話し合いをして搬入物の確認、定格位置等の説明をし、作業範囲内に下ろす
22	収集運搬	運転	片側1車線の道路を走行中	前方にウインカーを付けて停車している車両があり、その横を通り抜けようとしたら、車の陰から歩行者が飛び出してきた	車両の横を通過する為、急なドアの開閉に対応する為速度を緩めて走行することと、車両の影からの歩行者の飛び出しの危険を予測して運転する

業の種類	作業名	発生状況	発生原因	再発防止対策	
		(何がどうした)	(なぜ)	(どうした)	
23	収集運搬	運搬	ダンプが現場より出る時、タイヤに挟まれた廃材を取り除こうとしたところタイヤが破裂した	廃材の積込みヤードの整備をしていなかったため	廃材の積出は、積込みヤードの整地と排出路の確保をさせた
24	収集運搬	運転	雨上がりの運搬中、ダンプが横滑りし路肩から転落しそうになった	路肩によりすぎた為	朝礼時に雨の日の運搬で注意と注意する点を確認してから作業に入るようにした
25	収集運搬	産廃箱から荷下ろし	回転式フォークリフトで産廃箱を回転させたらCチャンネルから箱が外れて落下した	箱が腐食してチャンネルが取れた	箱の定期的な点検修理をする
26	中間処理	搬入車受入	ダンプアップ時に、荷台から解体材が落下し激突しかけた	搬入者がコボレーンより高く荷積みをしていた為、側面より落下した	ダンプアップ時は十分に距離を置き退避場所を確保するようにした
27	中間処理	前処理	重機カッターにて解体材を切断中	木材が硬くはじけ飛んで他の作業車両に当たりかけた	重機操作時はレバー操作を慎重に行い、また飛散した場合に備え、ブロックにてヤードに囲いを設けた
28	中間処理	荷降ろし	運転手と2人でトラック荷台のあおりを開く際、いきおいよく開いた為ボデーとあおりの隙間に指を挟んだ	運転手との合図の取決めがなく、急にあおりから手を放した	複数人で作業を行う場合は、合図や声掛けを徹底する
29	中間処理	荷降ろし	荷締ロープを緩めた時、積荷が落下しそうになった	積荷の状態を把握していなかった	積み荷の状態を確認しながら、荷締ロープを緩めるようにする
30	中間処理	設備点検	破碎機の点検整備中に足がスリップし、設備の上から転落しそうになった	作業靴の底に黒土が付着していた	設備乗り込み時の靴底の泥落とし手摺等を使用する

業の種類	作業名	発生状況	発生原因	再発防止対策	
		(何がどうした)	(なぜ)	(どうした)	
31	中間処理	破砕作業	バックホーで廃プラスチックを破砕中に、破片が飛び運転席の窓ガラスを破損した	バックホーの運転席近くで破砕作業をしていたため	破砕作業を運転席から離して行った。バックホーの運転席フロントに、防護網を取り付けた
32	中間処理	重機	バックホウで小割作業をしていた時、破砕した廃材が跳ね返り近くにいた作業員に当たりそうになった	バックホウのフロントカバーがなかった	フロントカバーを設置して作業員との接触のない安全な場所以外での小割作業を禁止した
33	中間処理	重機	砕石をダンプトラックに積み込むためにタイヤショベルに乗込もうとした時足が滑り転落しそうになった	前日の雨により足下がぬかるんでおり、靴に泥がついていたため	確実に靴の泥を落としてから乗るように注意する
34	最終処分	荷降ろし	ダンプトラックが後進中に落ちそうになった	荷降ろしの為のポケットに気づかず後進したため	誘導の確認及び停止位置を確認するように徹底した
35	最終処分	重機	バックホウにて破砕作業を行っている際に横転しそうになった	足場の確認を怠った	重機足場を確保し、周囲をよく確かめ作業を行う
36	クレーン作業 (杭の移動)	吊り荷作業	測定の作業をしていた時、吊り荷が頭上を通った	合図の確認が遅れた為	<ul style="list-style-type: none"> ・吊り荷作業を注視してもらう。 ・他の場所の測量から始め、作業を進めた ・朝礼で確認し、次の日から実施した
37	土木	測量時	2人で測量杭の打込の作業中、カケヤの頭部が抜けて、杭を支えていた作業員に当たりそうになった	カケヤの柄と頭部の固定に緩みがあった	作業前のカケヤの使用前点検 正面で杭を支えない

業の種類	作業名	発生状況	発生原因	再発防止対策	
		(何がどうした)	(なぜ)	(どうした)	
38	砕石販売	積込作業	タイヤショップで砕石積込中バック時に後方にダンプがいて接触しそうになった	積込作業中に集中して後方の確認不足だった	作業中は、前方・後方左右の確認をする
39	木くず販売	積込作業	バックホウでコンテナ車に木くずを積込作業中に木が跳ねて、跳ねた木がコンテナ車の運転手に当たりそうになった	まさか木が跳ねるとは思わなかった	コンテナ車の運転手は積み終わるまで降りて待機する
40	焼却	荷降ろし	DTからベニヤをBHのホークで荷降ろし中、圧でベニヤがはじけてしまいDTのそばにいた運転手に破片が当たりそうになった	運転手がDTの影にいて気づかず作業した	最初で運転手に声をかけ安全なところに退避する
41	分別	入荷品の分別	入荷品を分別中バックホウのそばで下を向いて作業をしていたらパイプが飛んできてヘルメットに当たった	バックホウが動いている中で、バックホウを見ないで下を向いていたので物が飛んでくるのがわからなかった	バックホウが動いている間は、近づかないでバックホウの動きを見ている
42	ガス配管工事	運搬	両手に荷物を持って歩行中、つまずいて転倒しそうになった。	現場内の段差等を確認せずに歩いた	現場内の運搬通路状況を確認し注意して歩く 両手に荷物を持っていると、体勢を整えることができない
43	ユニック作業	荷降ろし	配管材料の荷降ろし中、リモコン操作にて旋回したところぶつかりそうになった	リモコン操作の微妙な運転が難しい	手元操作で2人作業する
44	車両出入り時の誘導	誘導作業中	一般車両がスピードを出して接近してきた為、出入りする車両と接触しそうになった	一般車の行動が予測できず、出入りする車両を誘導してしまった	一般車優先で早めに、わかりやすい合図を行い、一般車が停止した後、工事車両を誘導するよう徹底した

業の種類	作業名	発生状況	発生原因	再発防止対策	
		(何がどうした)	(なぜ)	(どうした)	
45	方塊吊り上げ 作業時	クレーン作業	方塊を吊り上げの際、吊り筋が切れ、玉掛ワイヤーが暴れて、合図者に当たりそうになった	吊り筋が切れた為、また合図者、玉掛者が近くにいたときは吊り荷を巻き上げない	クレーンの運転手は、吊り荷を吊り上げる際、合図者、玉掛者が待機したのを確認後吊上作業を行う 吊り荷、ワイヤーの点検を確実に実施する
46	搬入	クレーン作業	搬入者の荷台にてトンバックに玉掛を行い地切りの際にやぶれて玉掛け者にあたりそうになった	吊りフックが吊り荷の中心になかったことと玉掛け者が吊り荷との安全な距離を取らないで合図を行った	玉掛け者はフック位置の確認、保安距離の確保を行って合図を送る。オペレーターは玉掛け車の位置を確認するとともに必ず地切りによる安全確認を行う
47	浸出水処理	薬品移送	ポリ容器からタンクへの薬品移送時にハンディポンプのノズルが外れそうになった	タンク補給口とノズルの固定がされていなかった	タンク補給口とノズルを固定してから作業するようにした
48	処分中	荷下ろし	トラックの荷を下ろす時	トラックの荷台から荷を下ろし、降りる時トラックの荷台から飛び降りて下にあったネジで足を滑らせて、足を捻り捻挫した	トラックの荷台から降りる時、降りる場所の足下を確認せず飛び降りてしまったので、足下と場所の確認をしっかりとる